

勉強時間を確保した上で、定期テストで100点を取ろう

- まずは「理解」、次に「書き取り練習」を -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

(1) おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

(2) 楽しく過ごしたゴールデンウィークも終わり、学生の皆さんはこれから本格的な勉強に入ります。仕事に就いている皆さんにとっても 2010 年度の最初の 1 か月が終わり、いよいよ本格的な仕事が始まります。いろいろなところで本格的に始動するのは 5 月だと思いますので、学生の皆さんは集中して勉強に取り組み、職業に就いている方もまた仕事に集中していただきたいと思えます。

(3) ところで、この「開倫塾の時間」では、どのようにしたらよい勉強ができるかという「勉強の仕方」についてお話をさせていただいています。ほとんどの中学校や高校ではしばらくすると中間テストや前期試験が行われると思いますので、今日はそのお話をさせていただきます。

2. 勉強時間を確保した上で、定期テストで 100 点を取ろう - まずは「理解」、次に「書き取り練習」を -

(1) 試験でよい点数を取るのには、それほど難しいことはありません。社会に出た方が、自動車の運転免許証を取ったりボイラー技師の資格を取ったりするのも同じです。学校の試験でよい点数を取るときも、国家試験などで資格を取るときも、勉強の仕方はほとんど変わらないのです。

(2) 今から、そのポイントをまとめてお話させていただきますのでお聴き下さい。一番大切なことは、学習成果は学習時間×学習方法というかけ算によって決まるということを理解することです。学習で一定の成果を出すためには、学習時間の絶対量を確保する必要があります。一方で、いくら多くの学習時間をとっても、学習方法がよくなければ学習成果は上がりません。たとえ上がったとしても、少ないものでしかありません。つまり、学習時間と学習方法のどちらも大事であり、学習時間をたくさんとることと学習の仕方を考えることが成績を上げるコツといえるのです。

(3) まず、学習時間について詳しくお話させていただきます。学習を進める上で大事なことは集中することですから、集中して学習できる時間がとれればよいのです。

- (4)それにはどうすればよいのでしょうか。たとえ 1 時間という短い時間でも学習時間をとるのは大変だと思う人もいるようですが、これは心の持ち方の問題ですから、勉強に集中しようと思えば、どのようにでもできるのです。例えば、本を読むことは、電車に乗りながらでもバスを待ちながらでもできます。また、学校の休み時間を使って本を読んだり勉強したりすることもできます。
- (5)大事ななのは、たとえ短くてもまとめて勉強する時間をどのようにとるかということです、これをお考えいただければと思います。私の基本的な考え方は、勉強時間を確保するためには勉強以外のことを少し控えることが必要であるということです。例えば、e-mail(イー・メール)をずっとやっている人はそれを少し控える、テレビを長時間見続けている人はそれを減らしてみる、ゲームをよくやっている人は時間を少し短くする。1 時間近くもの長風呂は止め、少し短めにするなどの工夫をしてみましょう。つまり、今やっていることを少しだけ短くする、できれば短時間で済ませられるものは、そうできるようにすることです。ただし、睡眠時間と食事の時間、トイレの時間だけは十分にとったほうがよいと思います。
- (6)このようにいろいろな工夫をして学習時間を確保したら、その学習時間の間だけは勉強以外のことは絶対にしないようにして下さいね。家族の方もいらっしゃいますから実行が難しいこともあるかもしれませんが、勉強をすると決めたらそれに集中し、その時間には勉強しかしないという状況を自分の中に作ることが大事であると思います。
- (7)一番よいのは、図書館や自習スペースに行って勉強することです。ただ、せっかく図書館や自習スペースに行っても、友達とおしゃべりをしていたり、居眠りや携帯電話をしていたのでは何にもなりません。ですから、自分の部屋でも茶の間のテーブルの上でもよいですから、勉強する場所を自分で確保して、たとえ 1 時間でも 2 時間でも、もっと言えば 5 分でも 10 分でもまとまった時間に集中的に勉強することが大事です。
- (8)このように、まずはどのようにしたら学習時間が確保できるかをお考え下さい。これができれば、あとは一心不乱に集中して勉強するだけです。
- (9)次は、学習方法についてお話します。例えば、テスト範囲が教科書の 1 ページから 30 ページまでとすると、そこに書かれている内容をスミからスミまで「理解」することが一番基本的な勉強方法です。学校の先生や塾の先生が授業中に説明して下さったことを思い出しながら教科書を読み進め、「これはこういうことだったのか。なるほどな。」と納得できるまでにするのです。読み進める中で、読みや意味のわからない単語・語句などが出てきたら、辞書を引いて調べて下さい。地理を勉強していて地名が出てきたら必ず地図帳でその場所・位置を確認し、歴史で年号が出てきたら年表で確かめましょう。法律を勉強している方は、六法全書で条文を確かめて下さい。資料集も何が書いてあるか、まずは、じっくり読み込みその後、上手に活用するとよいですね。

(10)理解したことを身につけるために、勉強は何回ぐらい繰り返し行うのがよいかというと、私のお勧めは最低でも6回、できれば10回です。理解できたことについては同じところを6回から10回繰り返し勉強すると、よく身につきますので、自然と成果が上がります。

(11)最後に、テストで点数を取るためのポイントをお話します。筆記試験の問題は、ほとんどが書かせる問題です。ですから、「 は だ」という言葉の意味、つまり定義(ていぎ)をまずはその意味をよく理解した上で、正確な文字で丁寧(ていねい)にスラスラ書けるようにしておくことが大切です。繰り返し繰り返し、書く練習をして正確に書けるようにしておく、点数がグーンと上がりますよ。

(12)このように、学習時間を確保して集中して勉強し、内容をしっかりと「理解」した上で、繰り返し繰り返し書く練習をして正確に書けるようにすると、学校の定期テストでよい点数が取れるようになります。また、国家試験などでも合格のための最低限の点数は取れるようになります。ですから、頑張ってこのやり方を身につけた上で実際にやってみてください。

3. おわりに

5月は気候もよいですので、勉強をする方は勉強に、仕事をする方は仕事に励んでいただきたいと思います。どうか頑張って下さいね。

- 2011年6月30日記 -